

## 刈谷市障害者計画に基づく事業実施状況について

## I 暮らしの基盤づくり

施策・取り組み	事業	平成28年度実施事業	平成29年度新規・拡大等	推進課等	
1 保健・医療	1 疾病の予防と早期発見・早期治療推進	1 乳幼児健康診査	1 4か月児健康診査を36回行った。 受診者数 1,623人 受診率100% 2 1歳6か月児健康診査を36回行った。 受診者数 1,623人 受診率99.0% 3 3歳児健康診査を36回行った。 受診者数 1,506人 受診率99.3% 4 未受診者については、保健師が家庭訪問し、確認ができない場合には関係部署と連携し、状況把握に努めた。 5 妊産婦乳児健康診査(医療機関委託)県外受診者への助成事業を行った。 616件		子育て支援課
		2 健康診査後の指導	1 1歳6か月児健康診査事後指導を行う。 ①どんぐりルーム 24回開催 ②2歳、2歳6か月児健康相談 36回開催 ③チューリップ相談室 36回開催 2 3歳児健康診査事後指導を行う。 ①ひまわり相談室 12回開催 ・どんぐりルーム…あそびを通して児の発達を促進すると共に、母親に対し、児へのかかわり方を指導する。 ・チューリップ相談室…1歳6ヶ月児健康診査後、発達について経過観察が必要な児の保護や不安がある保護者に対し、適切な助言指導を行う。 ・ひまわり相談室…3歳児健康診査後においても精神面・社会面について経過観察が必要な児及び保護者に対し適切な助言指導を行う。		子育て支援課
		3 発達障害等への支援	1 発達障害や高次脳機能障害に係る県からの通知を各事業所に情報提供した。 2 ラッコちゃんルームを開催した。 利用延べ組数 3,317組 3 ことばの相談室を開催した。 利用延べ組数 519組 ・ラッコちゃんルーム…発達について心配のある子どもとその保護者を対象に、発達を支援するための教室 ・ことばの相談室…ことばの発達について心配のある子どもとその保護者を対象とした相談		福祉総務課 子育て支援課
		4 成人の健康診査	1 特定健康診査(40～74歳)を行った。 9,411人 2 特定保健指導を行った。 267人 3 大腸がん検診を行った。 4 脳ドック(医療機関委託)を行った。 5 特定健康診査の受診促進キャンペーンを実施した。		健康推進課 国保年金課
	2 健康の保持・増進	5 訪問指導	1 訪問指導を行った。 980件 2 あかちゃん訪問を行った。 1,506人 3 育児相談を12回行った。 延べ数 877人 4 栄養相談を12回行った。 延べ数 37人 5 母乳相談を108回行った。 延べ数 227人(育児相談、予約制母乳相談を含む) 6 電話相談を行った。 5,297件		子育て支援課
		6 心の健康づくり	1 母子保健関係として、4か月児健康診査における産後うつ病自己評価をした。 経過観察 194人 2 成人保健関係として、心の健康づくりに関する市民健康講座を3回開催した。 参加者数 111人		健康推進課 子育て支援課
	3 医療サービスの充実	7 医療費の助成	1 心身障害者に対して医療費助成を行った。 ①受給者数 1,411人 2 精神障害者に対して医療費助成を行った。 ①受給者数 1,807人		国保年金課
		8 医療機関におけるコミュニケーション支援	1 医療機関等での情報保障として、手話通訳者・要約筆記者を派遣した。 ①派遣件数 261件		福祉総務課 健康推進課
		9 訪問歯科診療	1 刈谷市歯科医師会が行う、ねたきり老人及び障害者宅への訪問歯科診療事業に対して補助金を交付した。 ①訪問件数 235件(障害者 28件)		健康推進課
		10 訪問看護	1 精神障害のある人に対して自立支援医療として、訪問看護を行った。 ①申請件数 158件		福祉総務課

2 生活支援サービス	1 訪問系サービスの充実	11 居宅介護等	1 障害福祉サービスとして訪問系のサービスを行った。 ①居宅介護 136人 ②重度訪問介護 8人 2 地域生活支援事業として訪問系のサービスを行った。 ①生活サポート 1人 ②移動入浴 6人		福祉総務課
		12 移動支援等	1 障害福祉サービスとして訪問系のサービスを行った。 ①同行援護 9人 ②行動援護 1人 2 地域生活支援事業として訪問系のサービスを行った。 ①移動支援 82人		福祉総務課
	2 日中活動系（通所系）サービスの充実	13 自立訓練・生活介護等	1 障害福祉サービスとして日中活動系サービスを行った。 ①自立訓練（生活訓練） 9人 ②生活介護 196人 ③療養介護 11人 2 くすのき園 ①クラブ、プール、音楽療法、社会体験、機能訓練等 3 身体障害者デイサービスセンターたんぼぼ 利用者延べ1,901人 ①【定例行事】体重測定（月1回）、歯科検診（年1回）、絵本読み聞かせ（月1回）3B体操（年3回）、音楽療法（月4回） ②【その他】社会体験、外出レク、外食、クラブ活動等 4 すぎな作業所 ①ゴムバリ取り作業（午前） ②機能訓練、創作活動、園芸、歩行、外出レク、カラオケ等		福祉総務課 社会福祉協議会
		14 地域活動支援センター	1 地域生活支援事業として、日中活動系サービスを行った。 ①地域活動支援センターⅡ型（市外分）5事業所 実利用者数 5人		福祉総務課
		15 障害福祉施設の整備、充実	1 すぎな作業所を整備した。 ①旧厨房及び相談室エアコン修繕 ②マンホール修繕 ③網戸取替工事 2 くすのき園を整備した。 ①エレベーター改修工事 ②小便器修繕 3 心身障害者福祉会館を整備した。 ①体育館天井改修工事 ②シャワートイレ設置工事 4 身体障害者デイサービスセンターたんぼぼを整備した。 ①紫外線遮蔽フィルム貼付工事 ②シャワートイレ設置工事 ③カーテン取付工事	1 くすのき園を整備する。 ①園内放送設備改修工事 ②チャイム設備改修工事 2 身体障害者デイサービスセンターたんぼぼを整備する。 ①便所・汚物処理室空調機会設置工事 ②防犯カメラ設置工事 3 心身障害者福祉センターを整備する。 ①火災通報設備設置工事 ②内線電話器更新工事	福祉総務課
	3 短期入所等の充実	16 短期入所	1 障害福祉サービスとして、生活支援サービスを行った。 ①短期入所 47人		福祉総務課
		17 日中一時支援	1 地域生活支援事業として、生活支援サービスを行った。 ①日中一時支援 57人		福祉総務課
	4 生活の場の確保	18 グループホーム・ケアホーム	1 障害福祉サービスとして、生活支援サービスを行った。 ①グループホーム 52人		福祉総務課

2 生活支援サービス	4 生活の場の確保	19 シルバーハウジング	1 下重原住宅の改築に合わせて、手摺や緊急通報装置等が設置されたシルバーハウジングを整備するため、既存の下重原住宅の一部取壊しを行った。 ・シルバーハウジング・・・住宅施策と福祉施策の連携により、高齢者の生活特性に配慮したバリアフリー化された公営住宅等と生活援助員による日常生活支援サービスの提供をあわせて行う、高齢者世帯向けの公的賃貸住宅。		建築課
		20 住宅改修費の支給	1 住宅改修費を支給した。 ①支給件数 5件		福祉総務課
		21 施設入所支援	1 障害福祉サービスとして、生活支援サービスを行った。 ①施設入所支援 80人		福祉総務課
		22 多様な住まい方への支援	1 グループホーム整備促進事業を実施する。 ①1箇所整備 2 市営住宅高齢者・障害者向改修事業として、高齢者及び障害者が入居する市営住宅住戸の玄関・便所・浴室・階段等に手摺を設置した。 ①西境住宅他 計10戸 3 高齢者及び障害者の優先入居を行った。 ①中山住宅他 計3戸		福祉総務課 建築課
	5 その他の生活支援	23 コミュニケーション支援	1 コミュニケーション支援として、手話通訳者や要約筆記者を派遣した。 ①派遣件数 261件 2 手話通訳者奉仕員養成講座や要約筆記ボランティア講座を開催した。 3 手話設置通訳者として福祉総務課の窓口に手話通訳者を配置した。 4 ボランティアガイド活動事業として、視覚障害者及び脳性まひ者等全身性障害者や聴覚障害者等が、社会生活上外出することが不可欠なときに、ガイドを務めるボランティアの活動を支援した。 ①延べ利用者 289人(視覚障害者ガイド利用者 277人、要約筆記利用者 4人、車椅子使用者 8人)		福祉総務課 社会福祉協議会
		24 補装具費の支給	1 補装具費を支給した。 ①購入 112件(義肢2件、装具21件、補聴器39件、車いす13件他37件) ②修理 91件(義肢11件、装具2件、補聴器22件、車いす31件他25件)		福祉総務課
		25 日常生活用具費の支給	1 日常生活用具費を支給した。 ①介護・訓練支援用具 7件 ②自立生活支援用具 13件 ③在宅療養等支援用具 30件 ④情報・意思疎通支援用具 18件 ⑤排泄管理支援用具 2,242件	1 日常生活用具費を支給する。 ①住宅改修費	福祉総務課
		26 自動車運転免許取得費等の支給	1 自動車改造費を助成した。 ①支給件数 7件 2 自動車運転免許取得費を助成した。 ①支給件数 1件		福祉総務課
		27 福祉タクシー料金の助成	1 福祉タクシー券を交付した。 ①交付人数 1,722人		福祉総務課

2 生活支援サービス	5 その他の生活支援	28 各種手当等の給付	1 各種手当を給付し、障害のある人の経済的負担を軽減する。 ①心身障害者扶助料 受給者数 5,681人 ②特別障害者手当 受給者数 109人 ③障害児福祉手当 受給者数 62人 ④経過的福祉手当 受給者数 5人 ⑤難病見舞金 受給者数 876人		福祉総務課
		29 高齢者・障害者単身世帯等の戸別収集	①戸別の収集を65世帯行った。 ・要介護認定者 28世帯 ・身体障害者 28世帯(うち兼要介護認定者世帯14世帯) ・精神障害者 4世帯(うち兼要介護認定者世帯4世帯) ・知的障害者 1世帯(うち兼要介護認定者世帯1世帯) ・その他 4世帯		ごみ減量推進課
	6 障害のある人の地域移行	30 障害のある人の地域移行	1 地域移行支援支給決定数 1人 2 刈谷市障害者自立支援協議会の地域生活部会において、精神科病院への訪問調査及び具体的事例の検証を行った。		福祉総務課
3 相談・情報提供	1 相談支援体制の充実	31 刈谷市障害者自立支援協議会の運営	1 刈谷市障害者自立支援協議会において、相談支援部会、事例検討研修会、地域生活部会、就労支援部会、子ども部会の各部会で行った検討をもとに障害福祉に関する施策を推進した。 2 刈谷市基幹相談支援センターに各部会の運営を委託した。		福祉総務課
		32 障害者相談支援事業	1 刈谷市障害者支援センター内に年齢や障害の有無にかかわらず最初の相談窓口となる刈谷市基幹相談支援センターを開所して、相談窓口を開設した。 2 刈谷市障害者支援センター、ひかりのかけ橋、刈谷市社会福祉協議会、観寿々会にてサービス等利用計画の作成及びモニタリングを実施した。		福祉総務課
		33 市相談窓口の充実	1 刈谷市障害者支援センター、ひかりの家及び刈谷市基幹相談支援センターを中心とした専門機関との連携を行い、必要な支援を行った。 2 市職員の研修への参加を行い、知識の向上に努めた。		福祉総務課
		34 ピアカウンセリング	実績なし。 ピアカウンセリング・・・お互いに支えあいながら生き生きと自立した生活を送るための障害者同士のカウンセリング	ピアカウンセリングの機会を創出するための検討を行う。	福祉総務課
		35 基幹相談支援センターの設置	1 平成28年刈谷市障害者支援センター内において総合的な相談窓口を行う刈谷市基幹相談支援センターを平成28年4月1日より開所した。 基幹相談支援センター・・・地域における相談支援事業者等に対する専門的な指導・助言、情報収集・提供、人材育成の支援、地域移行に向けた取組等を実施し、相談支援機能の強化を図ることを目的とする。	1 平成28年4月1日に開設した刈谷市障害者支援センター内において総合的な相談窓口を行う刈谷市基幹相談支援センターについて障害者に広く知ってもらうための広報に努める。	福祉総務課
	2 情報提供の充実	36 声の市民だより	1 市内ボランティア朗読サークル「アイリス」が作成している市民だよりの音声情報を、刈谷市ホームページに掲載した。 ①掲載回数 24回		広報広聴課

3 相談・ 情報提供	2 情報提供の充実	37 情報のバリアフリー化の推進	<p>1 市民だよりにユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすい紙面を提供した。</p> <p>2 職員向けに研修を行い意識・知識の共有を図り、身体的制約や利用環境等に関わらず全ての人々が情報にアクセスできる指針となる「Webアクセシビリティ」JIS 規格の等級「AA」準拠、等級「AAA」一部準拠の維持・向上に努めた。</p> <p>3 行政映像情報「ビデオ広報」で、手話による解説を画面中に入れた手話版を4作品作成した。</p> <p>・ユニバーサルデザインフォント・・・できるだけ多くの人が利用可能であるようなデザインを基本コンセプトとしたフォント。</p>		広報広聴課
		38 刈谷の福祉ガイド	<p>1 平成 28 年度版「障害者福祉ガイド」を配布した。</p> <p>2 平成 29 年度版「障害者福祉ガイド」を翌年度の 4 月 1 日に配布できるよう準備した。</p>		福祉総務課
	3 障害のある人の権利擁護	39 成年後見制度	<p>1 刈谷市成年後見支援事業を委託している刈谷市社会福祉協議会において成年後見制度等の利用に関する相談を受けた。</p> <p>相談件数 180件</p>		福祉総務課
		40 日常生活自立支援事業	<p>1 障害のある人の権利擁護として、日常生活自立支援事業を行った。</p> <p>①契約者数 35 名(精神障害者 16 名、認知症高齢者 10 名、知的障害者 9 名)</p>		福祉総務課
		41 虐待の防止	<p>1 福祉総務課内に障害者虐待防止センターを設置し、通報等に対応した。</p> <p>2 刈谷市障害者自立支援協議会にて障害者虐待防止法に対応する。</p>		福祉総務課
		42 総合的な権利擁護の推進	<p>1 刈谷市成年後見支援センターを開設し、成年後見制度の普及啓発及び制度に関する相談を行った。また、申立ての手続き支援など、権利擁護の推進を図った。</p> <p>2 成年後見制度に関する研修に参加し、質の高い相談及び後見実務に対応できるようにした。</p> <p>3 障害者の相談支援、成年後見支援センター、日常生活自立支援事業の各種相談対応を通じて、虐待など障害者の権利侵害の早期発見・予防などに努めた。</p>		福祉総務課 社会福祉協議会

## II 自立と社会参加の基盤づくり

施策・施策の方向	事業	平成28年度実施事業	平成29年度新規・拡大等	推進課等		
1 障害のある子どもの教育・育成	1 早期療育の充実	43 障害のある子どもへの相談支援体制の整備	1 1歳6か月児健康診査事後指導を行った。 ①チューリップ相談室 36回開催 述べ数 85人 2 3歳児健康診査事後指導を行った。 ①ひまわり相談室 12回開催 延べ数 20人 3 ことばの相談室を開催した。 ①利用延べ組数 519組 4 障害児支援利用計画を作成した。 ①作成件数 363件 5 保育カウンセラー事業に準じて、発達の遅れが気になる子どもに対し、臨床心理士による相談を、保護者はじめ園長、教諭、保育士が適宜受け支援するための園訪問を145回実施した。		福祉総務課 子育て支援課 子ども課	
		44 児童発達支援センター	1 児童発達支援センターの業務を行った。 ①しげはら園延べ利用者数 6,104人 ②ひかりっこ延べ利用者数 4,047人 2 人材育成のために研修を受講した。 ①児童発達支援管理責任者研修 ②児童発達支援施設職員現任研修 ③サポートブック研修		福祉総務課 子育て支援課	
		45 保育及び就学前教育の充実	1 保育カウンセラー事業として、臨床心理士がカウンセラーとして各園を定期的に訪問した。 ①保育園 14園 ②幼稚園 16園 2 障害児保育補助として、障害児・気になる子に対して臨時保育士や教諭が対応した。 ①保育園 8園 ②幼稚園 16園 3 障害児・気になる子に対して受け入れる体制を整えた。 ①保育園 15園 ②幼稚園 16園		子ども課	
		46 保育所等訪問支援の実施	1 児童発達支援センターにおける、保育所等訪問支援の制度について保護者に伝え、訪問指導を受けることで、障害児や気になる子の早期療育の充実を図った。 ①延べ利用者数 215人 2 保育カウンセラー事業として、臨床心理士がカウンセラーとして各園を定期的に訪問した。 ①保育園 14園 ②幼稚園 16園		福祉総務課 子ども課	
		2 学校教育の充実	47 特別支援学校の設立	1 小垣江東小学校北舎の改修・増築工事を進めた。		教育総務課
		48 地域の学校における障害のある児童生徒への教育	1 特別支援教育コーディネーターの各校への配置や、校内委員会の設置、研究会の開催、巡回相談の実施などを通じ、障害のある児童生徒への教育体制を整備し、一人ひとりの教育的ニーズに応じて適切な教育的支援を行った。 2 一人ひとりの習熟に合った個別の教育支援計画や、個別の指導計画を作成した。 3 インクルーシブ教育の理念に基づき、国等の動向を踏まえ、地域の学校で障害のある児童生徒が学べる環境を整備した。 ・特別支援教育コーディネーター…障害を含む特別な支援を必要とする児童生徒への支援を充実するため学校に配置されるコーディネーター。 ・インクルーシブ教育…障害のあるなしを問わず、すべての子どもが共に学ぶことを理念とする教育のこと。		学校教育課	
		49 通級指導の充実	1 ADHD等の児童が増加していることを踏まえ、通級教室の拡大を県に要望した。 ・通級教室…通常学級に在籍し、障害の程度が軽度なことばの障害のある児童生徒や、学習障害(LD)や注意欠陥多動性障害(ADHD)などの発達障害のある児童生徒が通級し、週1～3時間程度の指導を受ける教室。	1 ADHD等の児童が増加していることを踏まえ、通級教室の拡大を県に要望した結果、富士松南小学校に新たに設置することができた。今年度も引き続き、県に要望していく。	学校教育課	
		50 関係機関との連携	1 特別支援教育連携協議会の開催を通じ、教育、医療、福祉、健康、労働等の各分野が連携した児童生徒への支援に努めた。 2 障害のある児童について、小学校入学前に作成した個別の教育支援計画を、保育園、幼稚園から小学校、中学校に至るまで引き継ぎ、一体的な指導が行える体制を整備した。		学校教育課	

1 障害のある子どもの教育・育成	2 学校教育の充実	51 支援補助員の配置	1 市内全小学校に学校教育活動支援指導補助員を配置するとともに、必要に応じて肢体不自由児童生徒介助支援員、特別支援学級児童生徒支援指導補助員を配置した。 2 各小学校の児童の実態に応じて、学校教育活動支援補助員を複数配置するとともに、よりきめ細かな支援の充実のために支援指導補助員の増員を検討し、各校に配置した。		学校教育課
		52 体験学習・校外学習の推進	1 各学校の特別支援学級に通級する児童生徒同士の交流を図るため、合同行事を開催した。		学校教育課
		53 学校施設のバリアフリー化の推進	1 日高小学校北舎、小垣江小学校北舎及び依佐美中学校中舎のトイレをバリアフリー化した。	1 小高原小学校北舎西棟、平成小学校北舎・南舎及び小垣江小学校中舎・南舎のトイレをバリアフリー化する。	教育総務課
		54 就学相談・情報提供の充実	1 教育支援委員会の開催や、就学相談、特別支援学校への体験入学等を通じ、障害のある児童生徒の就学を支援した。		学校教育課
		55 障害のある子どもの進路指導	1 職場実習や卒業生からの進路を学ぶ会等を通じ、障害のある児童生徒が、自身の将来の進路や職業を考える機会を設けた。		学校教育課
	3 子育て支援の充実	56 日中一時支援（再掲）	1 地域生活支援事業として、生活支援サービスを行った。 ①日中一時支援 57人		福祉総務課
		57 児童クラブや放課後子ども教室の充実	1 指導員の資質向上のため6ヶ所の児童クラブで外部講師による巡回指導と全クラブの指導員が対象の事例検討会を行った。 2 8箇所の児童クラブにおいて特別支援学級児童を13人登録した。 3 放課後子ども教室において、特別支援学級に所属する児童を8人受け入れた。 ・児童クラブ・・・保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校等に通う子どもに、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業。 ・放課後子ども教室・・・小学校の余裕教室等を活用して、地域の多様な方々の参画を得て、子どもたちと共に学習やスポーツ・文化活動、地域住民と交流活動等の取り組みを行う事業。		子育て推進課 生涯学習課
		58 レスパイト事業	1 夏休み等の長期休暇において、知的、身体障害児(者)を一時的に保護し、保護者の負担を軽減し、在宅福祉を向上した。 ①くすのき園利用人数 18人 (夏休み 11人、冬休み 4人、春休み 3人) ②身体障害者デイサービスセンターたんぼぼ利用人数 25人 (夏休み 12人、冬休み 6人、春休み 7人) ③つくし作業所 (夏休み 6人、冬休み 5人、春休み 2人)		福祉総務課 社会福祉協議会
		59 児童発達支援事業	1 障害児通所支援(児童発達支援)を支給した。 ①延べ利用者数 11,532人		福祉総務課
		60 放課後等デイサービス	1 障害児通所支援(放課後等デイサービス)を支給した。 ①延べ利用者数 19,861人		福祉総務課
61 ファミリー・サポート・センターの充実		1 育児の援助を行いたい人と育児の援助を受けたい人を会員として組織化し、相互援助活動による子育て支援を行った。 ①依頼会員 2,872人 ②援助会員 328人 ③両方会員 141人 ④活動件数 8,200件 ・ファミリー・サポート・センター・・・地域において、子育ての援助をして欲しい人と子育ての援助をしたい人が会員となり、子育ての相互援助活動を支援する事業。		子育て支援課	
2 雇用の場の拡大	62 企業等への働きかけ	1 障害者の雇用促進と職場定着を進めるため、各種助成金等の啓発、諸施策のPR、広報を国、県等と連携して行った。 2 福祉総務課と連携して「障害者雇用セミナー」を開催した。 ①参加者 29名		商工業振興課	
	63 就労支援ネットワーク	1 刈谷市障害者自立支援協議会の就労支援部会にて就労に関して検討し、障害者雇用セミナーを開催した。 ①参加者 29人		福祉総務課	

2 雇用・就労	1 雇用の場の拡大	64 市職員の障害者雇用の拡大	1 身体障害者を一般事務職で10月及び4月採用で若干名を募集した。	1 障害者を一般事務職で募集した。 ①10月採用・・・2人程度 ②4月採用・・・4人程度	人事課
		65 障害者雇用企業の評価	1 総合評価落札方式で行う入札を行い、その際の落札基準の加点項目で障害者雇用率の達成の有無についての項目を設定した。 ①入札件数 14件 ・総合評価落札方式・・・従来の価格のみによる自動落札方式とは異なり、「価格」と「価格以外の要素」を総合的に評価する落札方式であり、具体的には入札者が示す価格と技術提案の内容を総合的に評価し、落札者を決定する落札方式		契約検査課
		66 障害者就業・生活支援センター設置の働きかけ	1 刈谷市障害者自立支援協議会の就労支援部会で障害者就業・生活支援センターを含めた連絡会を設置し、就労支援に係る関係機関の連携体制を構築した。 ・障害者就業・生活支援センター・・・就業及びそれに伴う日常生活上の支援を必要とする障害のある人に対し、就業支援担当者と生活支援担当者が協力して、就業面及び生活面の一体的な支援を行うところ。		商工業振興課
		67 起業への支援	1 市民活動支援基金を活用した財政支援として、NPO 法人設立支援事業1団体、まちづくり活動支援11事業に対し、補助金を交付した。 2 平成29年度に実施する同補助金の交付に向け、公開審査を行った。 3 市民のまちづくりに関する自発的な研修などに対して、まちづくりびと支援事業補助金を交付した。 4 人材育成・交流啓発として団体間の交流・ネットワークづくりのために「車座集会」を開催した。(5回) 5 団体のレベルアップ・人材育成のための「スキルアップ講座」を開催した。(6回)		市民協働課
	2 個々に応じた就労支援	68 就労移行支援事業	1 障害福祉サービスとして、就労移行支援事業を行った。 ①就労移行支援 37人 2 福祉施設から一般就労に移行した際に福祉施設職員が就労後の支援を行うことにより、短期間での離職を防止する事業として、障害者就労移行後支援事業を行った。 ①相談回数 71回		福祉総務課
		69 就労継続支援事業	1 障害福祉サービスとして、就労継続支援事業を行った。 ①就労継続支援A型 119人 ②就労継続支援B型 173人		福祉総務課
		70 職親委託事業	実績なし		福祉総務課
	3 総合的な就労支援施策の推進	71 工賃水準の向上	1 市役所2階にて、障害者支援施設等で作成された授産製品を展示・販売した。 2 すぎな作業所で授産事業を行った。 ①自主製品授産事業収入 3,326,291円 ②加工授産収入 8,420,788円 ③その他の授産事業収入 1,540,000円 3 すぎな作業所の授産事業によって工賃を支払った。 ①工賃 9,760,876円	1 自主製品の見直しを行い、製品の改善に努める。 2 受託作業の充実を図る。	福祉総務課 社会福祉協議会
		72 就職支度金の支給	1 就職支度金を支給した。 ①6件		福祉総務課

2 雇用・就労	3 総合的な就労支援施策の推進	73 障害のある人の雇用への理解促進	1 刈谷市障害者自立支援協議会の就労支援部会にて障害者雇用セミナーを開催し、障害者雇用の促進を図った。 2 障害者就労移行後支援事業として、就労後の相談に対してフォローする。 ①相談回数 71回		福祉総務課	
	3 スポーツ・文化芸術活動	1 スポーツ文化芸術活動の推進	74 スポーツ活動への参加支援	1 スポーツ大会激励金として支給した。 ①全国大会 12人 ②国際大会 4人 2 スポーツに親しみきっかけづくりとして、スポーツ推進委員協議会への委託により、一般的に「ニュースポーツ」と呼ばれる、プレーやルールが比較的簡単で、子どもから高齢者まで、気軽に楽しめる種目を紹介、体験する機会を提供した。 ①刈谷GOGOウォーキング大会の開催(1回) ②スポーツふれあいdayの開催(計20回) ③ノルデック・ウォークステーションの開催(計12回)		福祉総務課 スポーツ課
75 スポーツ教室の開催			1 3B体操講座を開催した。 ①回数 22回 ②人数 426人 2 機能訓練講座を開催した。 ①回数 40回 ②人数 233人 ・3B体操…ボール、ベル、ベルターの用具を運動の助けとして使用しながら、全ての動きを音楽に合わせて集団で行う健康体操		社会福祉協議会	
76 文化芸術活動機会の充実			1 有料企画展の入場料を無料化した。 ①春(和田英作展) 907人 ②秋(しりあがり寿の現代美術 回・転・展) 478人 2 11月に刈谷市身体障害者福祉協会主催の作品展を後援し、約226点の作品を展示した。 3 3月に社会福祉協議会主催市民講座作品展を開催し、約141点の作品を展示した。		文化観光課 社会福祉協議会	
2 参加しやすい環境の整備		77 文化施設等のバリアフリー化の推進	1 各施設の良い使用状態を維持した。			生涯学習課 文化観光課
		78 生涯学習等への参加支援	1 講演会などにおいて、磁気ループシステムの使用により、聴覚障害のある人が参加しやすい環境づくりを進めた。 2 刈谷市総合文化センターで開催する市民大学講座について、手話通訳、パソコンを使用した要約筆記を行い、聴覚障害者も気軽に受講できるようにした。 ①市民大学講座 前期 9月19日、10月31日 後期 2月24日、3月22日(計4回)		生涯学習課	
		79 市立図書館サービスの充実	1 視覚障害のある人も利用できる図書を購入した。 ①大活字本購入 105冊(合計4,121冊) 2 音声訳ボランティアによる朗読サービス活動支援として、図書館を録音・郵送の拠点として活用した活動場所、録音機材の提供、市民だよりや図書館ホームページでの広報活動を継続して行った。		生涯学習課	

Ⅲ 人にやさしいまちづくり

施策・施策の方向	事業	平成28年度実施事業	平成29年度新規・拡大等	推進課等	
1 まちづくり	1 ユニバーサルデザインのまちづくり	80 公共施設等のバリアフリー化の推進	1 平成28年7月10日執行の参議院議員通常選挙において、入口に大きな段差がある投票所7箇所のうち、1箇所を段差のない近隣の公共施設に変更し、残りの6箇所にはスロープを設置して、投票環境の整備に努めた。 2 依佐美中学校中舎、小垣江小学校北舎及び日高小学校北舎の大規模改造工事においては和式便器を洋式便器に取替えるとともに手摺を設置し、双葉幼稚園の大規模改造工事及び富士松北保育園の改築工事においては合わせてオストメイト設備を備えた多目的便所を設置した。 3 中央図書館の和式便器を洋式便器に取り替えた。 4 美術館の和式便器を洋式便器に取替え、段差を解消し、バリアフリー化を実施した。	1 今後執行予定の選挙に向け、入口に大きな段差がある投票所6箇所にはスロープを設置するとともに、投票所の変更についても検討し、投票環境の整備に努める。 2 施設の建設、改修時にはユニバーサルデザインを取入れた計画及び整備をする。 3 本年度も引き続き、既存の施設に関しても利用者の要望を取入れながら、バリアフリー化を推進する。	施設保全課 総務文書課 建築課
		81 民間施設のバリアフリー化の促進	1 バリアフリー改修工事を行った公共性の高い民間施設に対して、補助を行った。 ①3件(一般飲食店2件、美容室1件) 2 パンフレットを窓口配布し、制度を周知した。		建築課
		82 わかりやすいサインの研究	1 野田新町駅北側に施設案内表示板の整備を行った。		都市交通課
	2 安全な移動の確保	83 公共交通機関等のバリアフリー化の促進	1 市道 01-25 号線電線類地中化事業を行った。(東陽町) L=43m 2 市道 01-4 号線道路新設改良事業を行った。(西境町) L=110m 3 市道 01-3 号線道路新設改良事業を行った。(西境町) L=115m 4 市道 2-496 号線電線類地中化事業を行った。(銀座) L=120m 5 市道 01-36 号線電線類地中化事業を行った。(住吉町) L=140m 6 JR逢妻駅の南北の駅前広場から連絡通路にエレベータの設置を行った。	1 市道 2-643 号線道路新設改良事業を行う。(東陽町) L=54m 2 市道 01-19 号線電線類地中化事業を行う。(相生町他) L=175m	道路建設課 都市交通課
		84 文字情報の充実	1 駅の改札口やホームにおいて、列車の遅れや緊急情報を伝える手段は音声だけでなく、電光掲示板などによる文字情報も充実している。		福祉総務課 都市交通課
		85 刈谷市公共施設連絡バスの充実	1 小垣江線、東刈谷線、東境線、西境線は、1日8往復運行を継続し、依佐美線、一ツ木線は、1日5往復運行を継続して行った。 合計 700,656人(267人) ( )内数字は車椅子利用者 ①小垣江線 170,728人(43人)④東境線 135,602人(5人) ②東刈谷線 124,650人(152人)⑤西境線 151,402人(48人) ③依佐美線 55,455人(18人)⑥一ツ木線 62,819人(1人) 2 総合健康センターバス停(1箇所)にシェルターを整備及び依佐美中学校(1箇所)にシェルター、ベンチを整備した。 3 バスロケーションシステムを導入し、刈谷駅南口バス停、刈谷駅北口バス停、刈谷豊田総合病院に運行モニターを設置した。	1 バスに乗降し易いよう、バス停環境の整備を行う。 2 市役所バス停、ひまわりバス停、刈谷ハイウェイオアシスバス停に運行モニターを設置する。	都市交通課
		86 安全な歩行空間の整備	1 市道 01-25 号線電線類地中化事業を行った。(東陽町) L=43m 2 市道 2-496 号線電線類地中化事業を行った。(銀座) L=120m 3 市道 01-36 号線電線類地中化事業を行った。(住吉町) L=140m		道路建設課
	3 防犯・防災対策の推	87 防災に関する啓発の推進	1 地区の防災訓練において防災講話を行った。 2 自主防災推進会議を開催した。		危機管理課 福祉総務課
		88 災害時要援護者の把握と地域のネットワークの構築	1 避難行動要支援者名簿を各地区に伝え、要支援者の所在を把握し、災害が起こった場合は各地区において支援体制が取れるよう働きかけを行った。 2 地域や関係課と連携しつつ、より多くの避難行動要支援者の把握を進めるとともに、個人情報等に配慮しながら情報の一元化と共有化をはかり、支援体制を整備した。 3 障害者に関する避難行動要支援者調査を行った。 4 高齢者に関する避難行動要支援者調査を行った。 ・避難行動要支援者名簿・・・災害が発生した場合に自ら避難することが困難な者で、その避難の確保を図るため特に支援を要するものの把握に努めるとともに、避難の支援、安否の確認その他身体を災害から保護するために必要な措置を実施するための基礎とする名簿		危機管理課 福祉総務課 長寿課

3 地域福祉の推進	1 地域福祉活動の推進	98 ボランティアの育成と活動支援	<p>1 刈谷市民ボランティア活動センターの登録団体数は 488 団体、個人会員は 196 人で、ともに平成 27 年度実績を上回った。</p> <p>2 刈谷市民ボランティア活動センターの相談件数は 1,160 件、マッチング実績は 116 件で、相談件数は平成 27 年度実績を上回り、マッチング実績は前年と同実績だった。</p> <p>3 市民活動団体の情報提供支援として、情報誌「ぼらっち。」を年 4 回発行し、かりや衣浦つながるねットによる情報提供支援を継続して行った。</p> <p>4 人材育成・交流啓発として、車座集会を開催した。(5 回)</p> <p>5 団体のレベルアップ・人材育成のためのスキルアップ講座を開催した。(6 回)</p> <p>6 交流・協力の場の充実として、まちづくり交流会「わがまちのつむぎ場 8」及び市民フォーラム「わがまちのしゃべり場 9」を開催し、団体同士が出会い、交流や相互理解を深める機会を創出した。</p> <p>7 まちづくりコーディネーターの育成として、「つなぎの学び舎・実践編」を実施し、まちづくりを担う各主体の参加や連携を促進するコーディネーターを育成した。</p> <p>8 ボランティア団体助成事業として、ボランティアを育成するため、活動支援の一環として、ボランティア団体に活動補助金を交付した。①補助団体数 77 団体</p> <p>9 ボランティアセンター運営事業として、ボランティア活動を推進するため、ボランティア保険の加入促進を行い、加入の際には活動支援の一環として一部金額を補助した。①加入者数 6,655 人</p> <p>10 社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて、ボランティアに関する相談に対し、活動をコーディネートした。 ①相談、コーディネート件数 96 件</p> <p>11 市民へのボランティア活動への関心を高めること、ボランティア活動への参加促進を図ることをねらいとして、ボランティアセンターだより「ひまわりボランティア通信」を発行した。①発行回数 4 回</p>		市民協働課 社会福祉協議会
		99 地域住民の理解と支援	<p>1 避難行動要支援者調査の結果(調査票)を、援助者として期待される全 23 地区に対し、自治連合会役員会及び地区長会議で提供し、援助体制の構築を依頼した。</p> <p>2 北部地区社会福祉協議会では、富士松中学校区及び雁が音中学校区において、住民同士の見守りや声掛けなど、インフォーマルサービスを推進し、地域の福祉増進を図ることを目的に活動を行った。</p> <p>3 南部地区事務所では27年度に引き続き準備委員会を3回開催し、平成28年7月に南部地区社会福祉協議会が設立した。南部地区社会福祉協議会で地域の支え合い、助け合い活動を行うための支援を行った。</p>	1 中部地区事務所では、中部地区(刈谷南中学校区及び刈谷東中学校区)において、地域の支え合い・助け合いの促進を目的の1つとする中部地区社会福祉協議会が平成30年度に設立されるよう支援する。	福祉総務課 社会福祉協議会
	2 関係団体との連携	100 民生・児童委員の活動促進	<p>1 障害者福祉部会で、施設研修(愛知太陽の家)、勉強会(障害者支援について)を行い、ひかりの家バザーボランティアに参加した。</p> <p>2 第二地域福祉部会で施設研修(豊田市こども発達センター)を行った。</p> <p>3 中部第二民生委員・児童委員協議会で施設研修(刈谷病院、愛厚希全の里)を行った。</p> <p>4 北部第一民生委員・児童委員協議会で、施設研修(愛厚ならわ学園)を行った。</p> <p>5 南部第一民生委員・児童委員協議会で、ひかりの家バザーボランティアに参加した。</p>		福祉総務課
		101 関係団体との連携	1 団体支援として、身体障害者福祉協会、育成会、はげみ会に対して補助金を支給した。		福祉総務課